

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA PRIUS α G's PRIUS α GR SPORT

専用シートカバー取付説明書

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

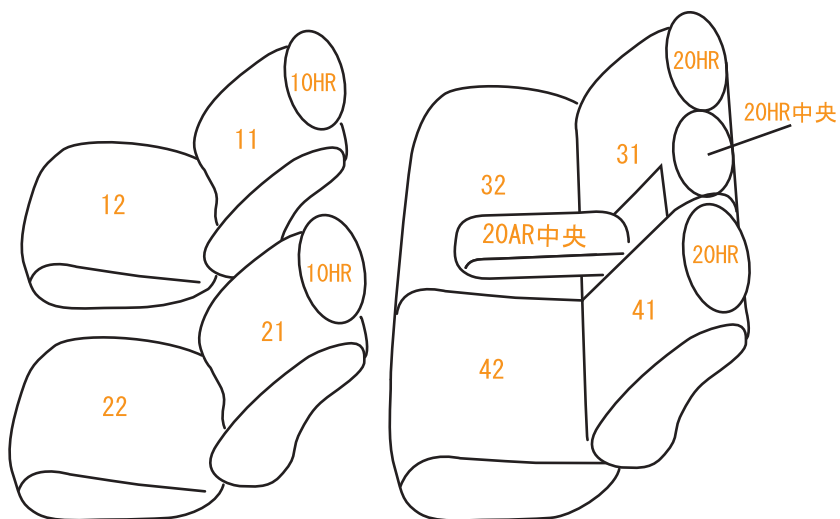
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~6P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 7P~8P
2 列目運転席側座面の装着方法	…> 9P~12P
2 列目運転席側背もたれの装着方法	…> 13P~15P
2 列目アームレストの装着方法	…> 16P~17P
ヘッドレストの装着方法	…> 17P~18P
完成図	…> 19P~20P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 21P~22P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



① クラツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



- 1** 始めに、シート背面から裏側に回っている生地を外します。生地はゴムでシート裏に固定されています。



- 4** シート全体にカバーをかぶせます。



- 2** シート背面下にマジックテープでサイドエアバッグの配線が固定されている為、固定を外します。



- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節し、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



- 3** カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



- 6** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この時、生地は配線の内側を通すようにして下さい。



- 7** カバー外側面の固定部材の付いた生地を、ヘラ等を使用し、シートとプラスチックの隙間に入れ込みます。後ろ側の生地も同様に隙間に入れ込んで下さい。



- 10** 背面に通したベルトと、5ページ6番で引き出した生地が付いているバックルを固定します。固定方法に関しては、11番を参照して下さい。



- 8** 内側面の生地が付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。後ろ側の生地はシートベルトバックルの付け根の隙間に、ヘラ等を使用し入れ込んで下さい。



- 11** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意下さい。



- 9** カバー前側に付いているベルトをスライドレバーの上を通して背面側に通します。
※シート裏のカブラーや配線等をできるだけけかわして下さい。



- 12** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法

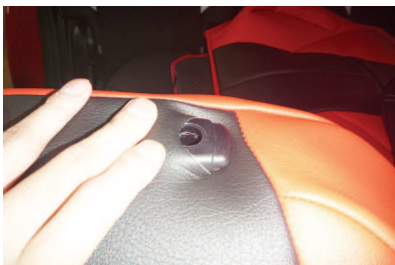


注意

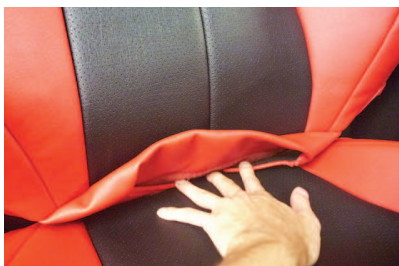
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



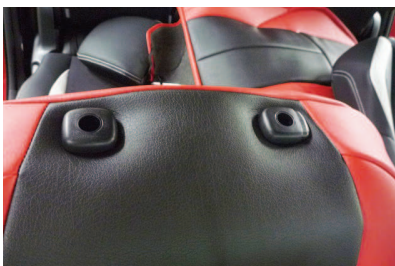
- 1** ファスナーを開いて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 4** カバーの加工穴から生地伸びを利用してヘッドレストの台座を取り出します。



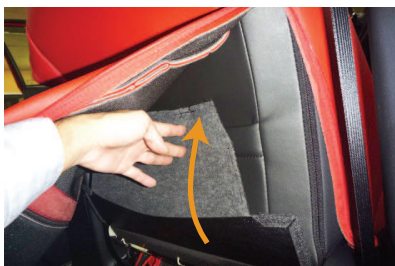
- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5** 本革を使用したカバーは革部分が伸びにくいので、取り出す際に生地が裂ける場合があります。大きく裂けない限り台座のフチに隠れますので、大きく裂けないよう慎重に作業を行ってください。



- 3** 入れ込んだ生地を背面から引き出します。生地を切り込みで配線をかかわして下さい。



- 6** 5ページ1番で外した生地を折り返し、カバーの内側へ入れ込みます。



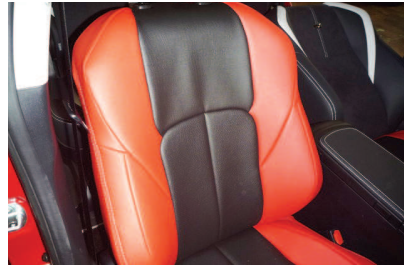
- 7** 背面の左右2箇所のファスナーを生地を内へ寄せながら閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 10** カバー背面下の生地が付いている2本のゴムをシート裏の配線などが干渉しない場所に引っ掛けて固定します。
※図はシート裏のプラスチックフックに固定



- 8** ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろすようにして、生地をシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで、繰り返し行って下さい。



- 11** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。



- 9** 7ページ3番で引き出した生地が付いているマジックテープと、背面下部の裏側に付いているマジックテープを固定します。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。

Step 3

2列目運転席側座面の装着方法

※ノーマルのプリウスαの図を使用していますが、装着方法は同じです。



- 1** シートベルトバックルを、固定しているゴムから外します。



- 4** 内側も同様に行います。（内側は向かって右側に寄せます）



- 2** チャイルドシート固定用フックがある部分のファスナーを開けておきます。



- 5** シートベルトバックルが収納されている箇所にベルトを通します。狭いですが、真っ直ぐ入れ込むとベルトが通る隙間があります。



- 3** 2番で開けた箇所（外側）に、カバー裏に付いているベルトを通します。ベルトをシート裏から取り出す為、ベルトを真っ直ぐ入れ、底に当たったら向かって左側へ寄せます。



- 6** 3番～5番で入れ込んだベルトを、シートを前方にスライドさせて、一旦シート背面から引き出します。引き出したベルトをシート裏から前側に通します。



- 7** カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



- 10** 中央部分の生地も隙間に入れ込みます。



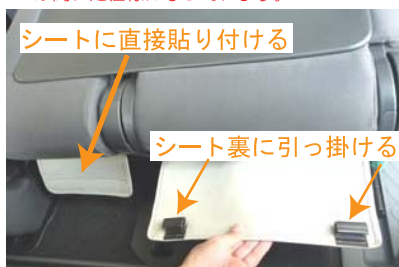
- 8** シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 11** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。この時、生地の加工穴とチャイルドシート固定用のフックの位置が合うようにして下さい。中央の生地は、チャイルドシート固定用フックはありませんが、加工穴が開いた仕様になっています。



- 9** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地を入れ込む際に、固定部材でシートに傷が付かないように慎重に作業を行って下さい。



- 12** 引き出した生地（外側の生地）に付いている固定部材をシート裏に引っ掛けて固定します。中央の生地はマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 13** 固定部材はシート地を固定しているフックの上から固定します。



- 14** カバー側面の生地に付いている固定部材を生地ごとシートとプラスチックの隙間に入れ込みます。



- 15** シートの付け根部分の生地を、ヘラ等を使用して、シートとプラスチックの隙間に入れ込みます。



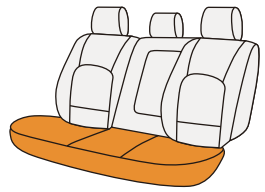
- 16** 9ページ6番で通したベルトをシート前側から引き出します。引き出したベルトと、カバー前側に付いているバックルを固定します。固定方法に関しては、6ページ11番を参照して下さい。



- 17** カバー前側に付いている固定部材を、シート裏で固定します。



- 18** カバー内側面に付いている固定部材を13番を参考にして、シート裏で固定して下さい。



- 19** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。



- 20** 助手席側のカバーには、シートベルトバックル収納部分の生地下に、ゴムが付いています。ゴムはシート裏に引き出して、シート裏に引っ掛け固定します。運転席側のカバーとの違いは、助手席側には内側面のフックは付きません。その他は運転席側と同様に取付けます。

Step 4

2列目運転席側背もたれの装着方法



1 カバーの加工穴にアームレストを通します。



4 アームレスト下の生地を、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



2 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



5 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



6 引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下の生地裏に付いているマジックテープを固定します。



- 7** シートの背面です。シート付け根部分に生地を入れ込みます。



- 10** シートの内側面です。図の隙間に生地を入れ込みます。



- 8** シート背面のバックボードの隙間に生地を入れ込みます。プラスチックの板を入れ込むことで、生地がはみ出さずに固定されます。



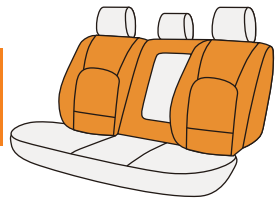
- 11** シート側面の付け根部分です。生地を隙間に食い込ませるように入れ込みます。



- 9** シート背面は図のように仕上がります。



- 12** シート正面からの付け根部分です。生地を隙間に入れ込みます。



13 シートの付け根に生地を入れ込みます。



16 入れ込んだ生地をアームレストを倒して引き出します。



14 ヘッドレストの台座を取り出します。



17 引き出した生地とアームレスト収納部の生地を、マジックテープで固定します。アームレスト収納部分の固定がない仕様の為、アームレストを収納した状態でしばらく置いていただき、生地に型を付けるようにすると綺麗に仕上がります。



15 アームレストの付け根に生地を入れ込みます。



18 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も形状は異なりますが、同様に取付けます。

Step 5

2列目アームレストの装着方法



- 1** カバーを半分程裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレストの先端までしっかりと生地が張るようにして下さい。



- 4** 入れ込んだ生地をアームレスト収納部の付け根から引き出します。



- 2** アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



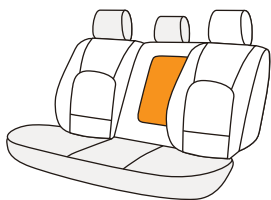
- 5** カバーをプラスチックフックで固定します。固定方法に関しては、6番を参照して下さい。



- 3** アームレストの付け根部分から生地を入れ込みます。図のように生地を奥に入れ込みながら、アームレストを倒す作業と起こす作業を繰り返す事で、徐々に生地が入り込んでいきます。



- 6** プラスチックフックの固定方法は、板状のプラスチックを包み込むように生地を折り返した状態で、フック状のプラスチックに入れ込みます。



Step 6

ヘッドレストの 装着方法

1列目ヘッドレスト



- 7** プラスチックフックを固定すると図のように仕上がります。



- 1** カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてます。ヘッドレストの先端までしっかりと張るようにして下さい。



- 8** アームレストの付け根部分の生地を図の隙間に入れ込みます。



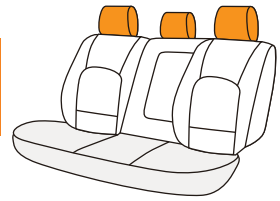
- 2** ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げ、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 9** カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



- 3** ヘッドレストをシートから外し、プラスチックフックを固定します。固定方法に関しては、16ページ6番を参照して下さい。



- 4** ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト



- 5** 2列目ヘッドレストは、ヘッドレストの先端部分から矢印の方向へかぶせます。



- 7** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏のマジックテープを、生地を内へ寄せながら固定します。



- 8** プラスチックフックを固定します。固定方法に関しては、16ページ6番を参照して下さい。



- 6** ヘッドレストのラインからずれないようにヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 9** ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。2列目中央のヘッドレストも同様に取り付けます。

完成図



1 列目



2 列目

完成図



2列目フォールダウン時



背面

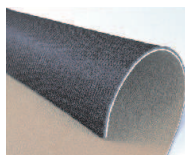


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816